

ムラサキケマン (紫華曼)

名前の意味：花が紫色のケマンソウという意味。華曼は、仏様の周りを飾るつる状のもの。観音様の胸飾りも華曼という。ケマンソウの花が華曼の部品ににているため。

分類：双子葉類、ケシ科、キケマン属
(ケシ科の栽培植物：ポピー)

好きな場所：湿った道ばたや林の縁

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生)

特徴：細かく分かれた白っぽい緑色の葉、筒状の赤紫色の花、緑色のはじける実

種子の運ばれかた：果実が種子をはじき飛ばす

花弁の数：離弁、5枚

花の時期：4—5月

食べ方：食べられない

見分け方：ジロボウエンゴサクとは、花の数が多いこと、球根がないことで区別できる。オヤブジラミとは茎に毛がないこと、花が筒状で薄紫色色であることで区別できる。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★

総合難易度 ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)